

4月第1回定例記者会見

平成31年4月5日（金）9時～

市長公室

○参加報道機関（敬称略）

信濃毎日新聞社飯田支社、朝日新聞飯田支局、南信州新聞社、(株)飯田ケーブルテレビ、
中日新聞飯田支局

○会見内容（敬称略）

進行【秘書広報課長】

1 開会

2 市長あいさつ

本日は、2019・2020年度各地区地域協議会委員の選任について、市民協働環境部から発表します。

今年度一年お世話になりますが、よろしくお願ひします。

3 発表事項

（1）2019・2020年度各地区地域協議会委員の選任について【市民協働環境部】

資料にもとづき説明

説明者：市民協働環境部長、ムトスまちづくり推進課長

〈質疑応答〉

南信州新聞

女性の割合が前年度より高まっていると説明があり、その内訳をみると東野地区は50%で半数を占めるということですが、これは今までで一番高い比率でしょうか。

飯田市

これまでは地区別の割合の最高が47%でしたので、最も高い比率となっています。

選出についてそれぞれの背景を持ちながら、女性の選出を呼びかけていただいた。

委員長クラスや公民館長が女性になったという要因もあるかと思われまふ。

南信州新聞

公民館長が女性になったのは、初めてだったでしょうか。

飯田市

現在の東野地区の公民館長は男性です。ほかの地区で2名、女性公民館長がいらっしゃいます。

東野地区では地区の基本構想が昨年度策定されて、その策定に際して、多くの若い女性が

策定委員として参画しており、「女性の意見や力を反映した地域振興をしていくべき」といった捉えが地区の中にあると考えられます。

南信州新聞

まちづくり委員会や公民館活動では役員の担い手不足が課題になっているかと思いますが、この推薦・公募による地域協議会委員の選任において、地区それぞれ異なるとは思いますが、担い手不足という課題はあるのでしょうか。

飯田市

地域協議会は、地区内のご意見を調整していただいたり、地域課題を市へ提言していただいたりと、市の諮問機関として重要な役割を担っていただいておりますが、選出に苦慮した地区はあるかと思われまます。

年齢構成に工夫していただいております、なるべく若い方に取り組んでいただこうと30代の方を選出していただいているところが12地区あります。

4 その他

○連休（4月27日から5月6日まで）中の窓口対応について

信濃毎日新聞

新元号が決まり、婚姻届等を提出される方が多くなりそうですが、5月1日の閉庁日は、どのような対応になりますでしょうか。

飯田市

広報いいだ4月15日号に10連休中における各種届出の受付や関係機関の態勢について載せる予定です。

戸籍等の届出について、今回の連休中は、4月30日、5月1日及び5月2日にC棟1階市民サロンにて臨時窓口を設け、普段の当直勤務の職員に加えて、担当職員を複数人配置する予定です。

○元号が「令和」に決定したことについて

朝日新聞

市長は「令和」をどのように受け止められたでしょうか。

飯田市長

新しい元号がスタートすることに際して、もともと私が今年の漢字一文字に「改」を選んでいることもありまして、これを機に飯田市役所内で改めるべきことは改めていくという思いをしっかりと持っていければと思っています。

また、「令和」が、みなさんに親しまれる元号になれば良いと思っています。

信濃毎日新聞

今日の会見次第を見ますと「平成」と表記されていますが、市役所庁内で和暦と西暦の使い

分けについて決まりがあるのでしょうか。

飯田市

改元が明らかになった時点で西暦を併記するように対応してきていますが、元号が決まった現在においても当面は併記していく方向でいます。

朝日新聞

システム改修はいかがでしょうか。

飯田市

5月1日にスタートできるようにシステム関連の対応を進めています。

以上

この内容については、言葉遣いや言い回しなどを整理したうえで作成しています。

(作成：秘書広報課広報広聴係)